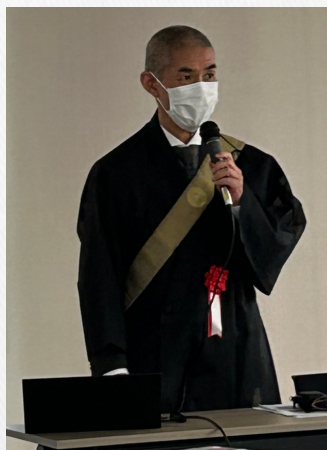


【学会報告】第75回日蓮宗教学研究発表大会

令和5年11月10日(金)から11日(土)にかけて、第75回日蓮宗教学研究発表大会が立正大学を開催担当として行われました。3年ぶりの対面での開催となった前回に続き、古典から近代に至るまでの日蓮教学・日蓮教団史を中心として、仏教学一般・仏教美術などの領域を含んでの多岐にわたる内容の発表がなされ、充実した学会となりました。本学関係者も多く参加し、日々の研究成果の一端を発表しました。また今回は4年ぶりとなる対面での授賞式・懇親会も実施され、発表者・参加者たちによる交流も行われました。



身延山大学関係者発表題目(発表順)

- ・ 「ルアンパバン仏像の造像形式による史的受容試論」(池上要靖教授)
- ・ 「末木文美士博士の法華経論」(岡田行弘客員教授)
- ・ 「第四のアンソロジー文献『修習次第経集』について」(望月海慧教授)
- ・ 「日蓮伝記本における身延入山・甲斐国巡教・身延山開闢に関する記述」(望月真澄教授)
- ・ 「江戸の文化人と法華信仰」(木村中一教授)